

2014 年度 情報学研究所活動報告

● シンポジウム

2014 年 11 月 5 日	第四回講演会	「クラウドが拓く未来」 滝口開資氏 (アマゾンデータサービスジャパン株式会社)
アマゾンデータサービスジャパン株式会社 滝口開資氏が講演された。社会に浸透するクラウドに関して、滝口氏の所属する AWS、アマゾンウェブサービスを具体例として話された。クラウドコンピューティングにより柔軟な IT 資源の利用が可能になり、ビジネス機会がこれまでよりも増大するというインパクトについて紹介された。滝口開資氏による講演の後に、滝口開資氏と情報学研究所の研究員が、「クラウドが拓く未来」に関連するテーマで討論会を行った。討論会では、藤山英樹教授、飯島優雅准教授、黄海湘非常勤講師が各々の考えを述べた。		

● 研究会

2014 年 4 月 30 日	第 19 回研究会	「項目難易度に依存せずにテスト受験者の絶対能力レベルを推定する：ロジスティック回帰分析の応用」 安間一雄教授
安間一雄研究員が、問題毎に設定された難易度とテスト受験者の正解・不正解の結果データに対してロジスティック回帰分析を応用することで、テスト受験者の絶対能力レベルを推定する方法を解説した。		
2014 年 5 月 28 日	第 20 回研究会	「ハイブリッド遺伝的アルゴリズムによる設備再編計画とその応用」 鈴木淳教授
鈴木淳研究員が、工場の設備再編問題に対して、ハイブリッド遺伝的アルゴリズムを用いて解いた数値実験の結果を紹介した。		
2014 年 7 月 2 日	第 21 回研究会	「ブロードバンドワイヤレス通信の最新動向」 三宅真非常勤講師
三宅真氏が、ブロードバンドワイヤレス通信を中心に情報通信の最新動向を紹介し、今後の情報通信ネットワークの発展動向の展望を解説した。		
2014 年 7 月 31 日	第 22 回研究会	「ライフログを活用した英語語彙学習」 吉田葵非常勤講師
吉田葵客員研究員が、英単語との一つ一つの出会いの印象を強めれば少ない回数で覚えられるのではないかという発想に基づいた研究として、効率的な英単語習得のためにライフログを活用する方法を解説した。		
2014 年 10 月 15 日	第 23 回研究会	「進化的計算手法における効率的な解探索についての分析」 今福啓教授
今福啓研究員が、遺伝的アルゴリズムや遺伝的プログラミングなどに代表される進化的計算手法における効率化に必要な要素について解説した。		

● ワークショップ

2014年4月30日	第15回ワークショップ	「アンケートチュートリアル」 大床太郎専任講師
大床太郎研究員が、有意義なアンケート調査を行うための方法について解説し、参加者が調査のテーマ（消費税、学習、ゲームなど）を自由に設定し、調査票の質問項目を作成する演習を行った。		
2014年5月28日	第16回ワークショップ	「仕事のためのクラウド活用術」 堀江郁美准教授
堀江郁美研究員が、仕事のためにクラウドを効果的に活用する方法に関して、論文作成・管理に便利なクラウドサービスとその概要について解説した。		
2014年7月2日	第17回ワークショップ	「ICT技術を利用した国際交流」 渡辺節子氏（日本旅行作家協会）
渡辺節子氏が、英語教育や旅においてどのようにインターネットを活用してきたかについて解説した。		
2014年7月31日	第18回ワークショップ	「AR 拡張現実-現実を豊かにする技術-」 和田智教授
和田智研究員が、人の顔や建物など現実の物体に情報を付加することを可能にするAR（Augmented Reality）について解説した。		